# 偽アルドステロン症

監修：吉野 鉄大 先生
（聖隷浜松入学医学部大学院医学部 ― 特任講師）

## 疾患概念

偽アルドステロン症は、低レニン性高血圧、低カリウム血症、代謝性アルカローシス、低カリウム血性ミオパチーなどの臨床症状を呈する、アルドステロン値の低下が認められるものの、低レニン型のアルドステロン濃度（PAC）が低下を示さず増加する。

カンゾウ（甘草）を含む薬剤（以下、その主要成分であるグリチルリチンを含有する医薬品などを指称したことより「甘草」と略記する。）を服用することで、ミネラルコルチコイド作用を有するその医薬品によるものの、先天性酵素阻害剤（遺伝的疾患）などの異常による病態（二次性）、ミネラルコルチコイド受容体異常などを除外することもあります。

医薬品の副作用としての偽アルドステロン症は、医薬品の服用に伴い、低レニン性偽アルドステロン症のみならず、高血圧（本来の高血圧）の低下が生じ、これらの原因医薬品のうちにより正常化した場合に診断されます。

## 発生機序

通常状態
ネフロン
血管
ヒト
ヒト
ヒト